

2006 年度

科目名 文化財研究法 2A	対象学科・学年 文学部文財 2 回生	担当者 梯 信暁
授業テーマ 文献史料の扱い方		
授業の概要と目標 文献史料の検索・解読の方法を学びます。各自研究テーマに関する論文を読み、そこに用いられた史料を入手することが第一の目標です。辞書・目録などを駆使して、史料の所在を求めます。なかには閲覧困難な版本や写本を使っている場合もあります。どこへ行けば閲覧できるのか、写真撮影は可能なのか等々、さまざまな困難を克服して、史料を手に入れます。さあ研究を始めましょう。		
評価方法 課題提出 (50%)・授業中の発表 (50%)		
テキスト 受講生の研究テーマに応じて、授業中に指示します。	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 (1) 自己紹介：私は〇〇の研究をします…。 (2) 関連論文を読み、各自〇〇研究に必要な史料をピックアップする。 (3) 資料検索の方法①：基本的な辞書・目録の紹介。 (4) 資料検索の方法②：活字史料の検索。 (5) 資料検索の方法③：版本・写本の所在と閲覧方法。 (6) 史料の整理：各自収集した史料をまとめて提出する。 (7) 史料解読の方法：先行研究を参照しつつ資料を解読する。 (8) まとめ		